



スマイル

No.18 令和4年3月24日

学校教育目標

郷土を愛し、健康で確かな学力と豊かな心を身につけた、たくましい児童の育成



1年間 ありがとうございます！



3月24日（木）をもって、令和3年度を終えることができました。

この令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、臨時休校や学級閉鎖もあり、多くの行事が中止や縮小された1年でした。そんな中でも、学校教育目標「郷土を愛し、健康で確かな学力と豊かな心を身につけた、たくましい児童の育成」のもと、「進んで学ぶこい子」「思いやりのあるやさしい子」「健康でたくましい子」の育成を目指し、全職員一丸となって取り組んで参りました。子どもたちは、コロナ感染症対策を行いながら、全力で臨み成果を上げるとともに、心身ともに大きく成長しました。

これもひとえに、保護者の皆様方、そして地域の皆様方のご支援・ご協力の賜物と感謝申し上げます。最後に4年間、本当にありがとうございました。



凛々しい態度で臨んだ卒業式

3月16日に、「令和3年度卒業証書授与式」を行いました。卒業生と保護者のみの卒業式となりましたが、卒業生たちは、凛々しい態度で卒業証書を手にすることができました。そんな卒業生たちに、式辞として「目標をしっかりと持つ」「逆境を生かす」という2点について話をし、「艱難汝を玉にす」という言葉を贈りました。

次に、愛育会会長佐々木様から祝辞として、他者の喜びを自分の倖せに考えられるようにと「他喜自倖」という言葉をいただきました。



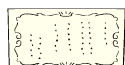
在校生代表2名の送辞を受けて、卒業生たちは、呼びかけで、6年間の思い出とともに、保護者や先生方への感謝の言葉を述べ、「この地球のどこかで」を合唱して会場を後にしました。

校舎では、卒業式に出られなかった在校生たちが、感謝の気持ちを込めた手作りのプラカードを掲げて、卒業生を見送りました。

卒業生と在校生のなんとも心温まる光景でした。



勝浦市議会表彰



3月17日（木）に6年の砂田蓮音さんと5年の笠原小真千さんの2名が、勝浦市議会から表彰されました。砂田さんは柔道で、笠原さんは水泳での活躍が評価されての受賞となりました。

2人とも議場ではやや緊張気味でしたが、記念の楯とメダルを授与されると自然と笑みがこぼれ、緊張がほぐれたようでした。最後にお礼の言葉を立派に発表できました。



修了式



3月24日に修了式を行い、5年生代表の吉野絢翔さんへ修了証書を手渡ししました。

修了式では、1年間の自分自身を振り返り、4月から新たな一步を踏み出してほしいと伝えました。

そして、最後に、困難を乗り越え、立派な人間に成長して欲しいことを願い、卒業生と同様に「艱難汝を玉にす」という言葉を贈りました。

今後の勝浦小学校
全員の活躍を
期待します。

